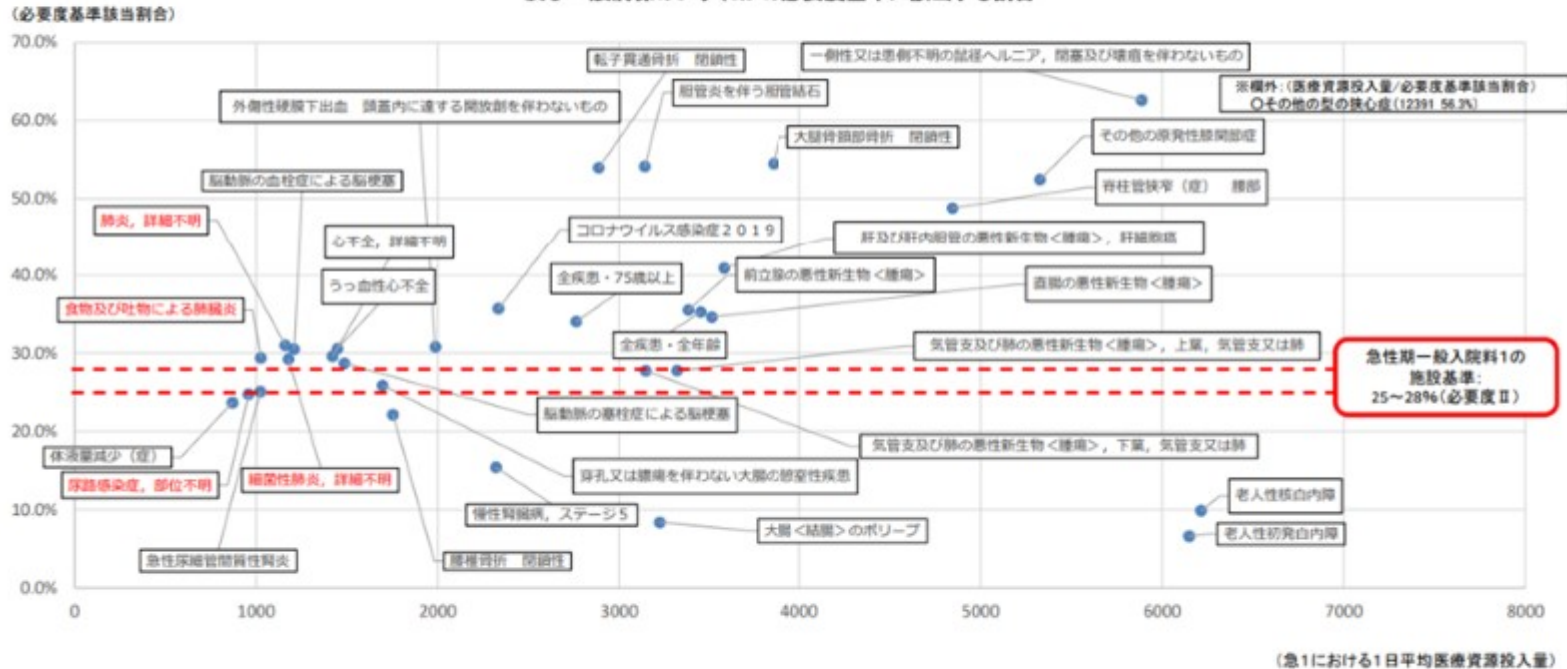


資料4

高齢者に多い疾患における入院料間の医療資源投入量の比較②

- 75歳以上に多い疾患のうち、「食物及び吐物による肺臓炎」、「肺炎・詳細不明」、「細菌性肺炎・詳細不明」、「尿路感染症、部位不明」等は、医療資源投入量が低いものの、急性期一般入院料1の施設基準と同程度に重症度、医療・看護必要度の該当割合が高い。

75歳以上の患者に多い疾患^{※1}における急性期一般入院料1を算定する場合の医療資源投入量^{※2}及び一般病棟のいずれかの必要度基準に該当する割合



※1 入院初日にDPC算定病床又は地域包括ケア病棟に入院する75歳以上の患者で多い上位30個病。

※2 一日平均出来高換算点数から、A(入院料)及びH(リハビリテーション)を除いたもの。

出典:DPCデータ(令和4年4月~12月)